

第2学年8組 外国語(英語コミュニケーションⅡ)・数学科(数学Ⅱ) 学習指導案

令和5年11月8日(水)第6校時 合併教室 指導者 三尾健一(英語)

有岡桂佑(数学)

1 単元名

題材 LANDMARK English Communication II (啓林館) Lesson 7 Part 2

単元の目標 内容のまとめ：「戦場からの手紙」について書かれた文章から必要な情報を読み、複合関係代名詞や完了不定詞の意味や働きを理解する。また、本文の要点や詳細を把握し、それについて自分の考えを論理的に整理して、お互いに相手に伝え合うやり取りを続ける。

2 単元の評価規準<五つの領域>

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと(やりとり)		教師からの推論発問に対して文中の内容を捉え、自分の考えを相手に話して伝えられている。	教師からの推論発問に対して文中の内容を捉え、考えていることをお互いに相手に伝え合うやり取りができる。
書くこと		教師からの推論発問に対して文中の内容を捉え、考えを深めて表現できる。	
読むこと	文章を読み、複合関係代名詞や完了不定詞を使用した表現の意味と構造を理解する。	「戦場からの手紙」についての内容を読み取り、長文読解の実践的なスキルを活用し、本文の概要を把握することができる。	

3 指導上の立場

○単元観

本単元は、硫黄島の戦いについて書かれた文章、および「戦場からの手紙」を読んで、日本兵たちが過酷な戦地にあっても、自分のことよりも家族のことを思いやったことを伝えている内容である。

○生徒観

本学級の生徒は、英語学習に対する関心は比較的高いが、全体的には苦手意識を持っている。そのため、生徒同士でのコミュニケーションの場を多く用意し、教師による一方向の授業ではなく、教師と生徒の双方向の授業を行うよう努める。

○指導観

トピックに関する推論発問を行うことで、生徒に硫黄島の戦い、および戦場からの手紙の内容を深めさせる。またペアワークにおいて、自分の感じたことや考えを表現できる場面を設定する。

4 指導と評価の計画(全6時間) (○…記録に残す評価)

時	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	備考
1 5	Part1~5 ■「戦場からの手紙」について書かれた文章を読んで、自分にとって特別な人に伝えたかった思いを読み取り、その情報や自分の考えを論理的に整理して、書いて伝える。 ①音読と精読で音声情報・文字情報を脳で捉える。 ②英文概要把握から日本語要約を通じて内容理解をする。 ③精読を行い、正しい英語の活用をおさえる。	○	○	○	
3 (本時)	Part2 ■文章を読んで、戦況や残された家族への思いを読み解き、自分の考え(推論)を論理的に相手に伝える。 ①英文概要把握から日本語要約を通じて内容理解をする。 ②事前課題を基に発問を重ねて、深く考えていく。 ③自分の考えを論理的にまとめて、表現する。		○	○	数学との教科横断型授業の実施。 戦況を数学的見地から、心情的な箇所を語学の見地から思考する。
6	まとめ活動 小テスト, listening, paraphrase, speaking, writing,	○	○	○	

5 本時案(第3時)

(1) 本時の目標

- 知識、技能：複合関係代名詞の構文の使い方、英単語が適切に理解できる。
- 思考、判断、表現：硫黄島の戦況の概要を把握し要約ができおり、事前課題の発問を基に自分の考えや感じたことを整理し、表現できる。
- 主体的に学習に取り組む態度：相手の考えをしっかりと受け止めながら、積極的にコミュニケーションをとることができる。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
(生徒の立場) 0 本時の目標を確認する。(2)	(指導者の立場) 本時のねらいを伝える。	
<p>目標:戦局を数学的見地から考察し(数学), 兵士の心情を言語(英語) 的見地から推察する。 I 情報分析活用力, II 論理的思考力 V 垣根を越える力</p>		
<p>1 Warming upとして音読活動 pepperをする。(2)</p> <p>2 事前課題を発表し合う。(4)</p> <p>4 即興課題の命題に取り組む。 <数学的見地> (20)</p> <p>深い学び, I 情報分析活用力 II 論理的思考力</p> <p>5 英文を作成し, 発表し合う。 <英語的見地> (12)</p> <p>6 本時の振り返りを含め, 次々々回への課題を明示する。(5)</p> <p>主体的学び→自己に関連づけること, 深い学び→俯瞰, I 情報分析活用力</p>	<p>チャンクで意味を捉えることを意識させ, 有機的な音読になるようにさせる。(リズム, テンポ)</p> <p>事前課題(60words)をお互い発表し合い, 参考としてChatGPTの回答も読ませる。</p> <p>事前課題から発展させた推論発問を提示し, さらに深く思考させる。ChatGPTの回答から思考を焦点化させていく。内容理解の過程で見落としていることを確認させる。数値データに注目させ, 推測させる。</p> <p>探究の段階 01 テーマ・課題→仮説 05 考察・推論</p> <p>お互いの英文を黙読する。自作の英文を発表し合う。参考としてChatGPTの回答も読ませる。</p> <p>対話的学び, V 垣根を越える力</p> <p>自己に関連づけ, 深い学びを促せるように本時のポイントを確認し, 次々々回の表現活動への足場組み立てをする。</p> <p>「振り返り→言語化→即興性」により, 学習の定着が図れたかを反芻させる。(授業中要所でも随時)</p>	<p>ペアでの活動に積極的に取り組もうとする意欲がある。(主体的に学習に取り組む態度) <観察></p> <p>推論発問に対して異なる側面から論理的に思考することができる。(知識・技能) (思考・判断・表現) <ワークシート, Jamboard></p> <p>学習したの内容を振り返り, さらに自己に関連づけて考えを深めていく。(思考・判断・表現) <Google forms></p>
<p>まとめ:異なる見地から考察や推察する力を養え, 思考の前と後で内容の理解がどのように変わったか。</p>		

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

主体的に英語を用いて, ペアとコミュニケーションをとることができる。本文の内容把握を通じて, 自分なりに状況分析を深めようとしている。

(3) 準備物

ワークシート, 説明用スライド, クロムブック, 授業冊子